

保護者のみなさまへ

突然ですが、保護者のみなさまは、お子さんのことでお困りのとき、どうされていますか？おそらく、次のような答えが多いのではないのでしょうか。

1. ご家族に相談する
2. 先生に相談する
3. 友達に相談する
4. 1人で抱える



1の「ご家族に相談する」は、1番多いと思います。それで解決すれば何よりです。それをきっかけにご家族の絆が深まるかもしれません。雨降って地固まるように。・・・ただ、もしご家族で考え方が違ったり、問題が大きすぎる場合、困りますよね・・・。

2の「先生に相談する」も、相談したい先生がいるって素敵だなあとと思います。（余談ながら、「林小は、熱心で子ども思いの先生が多いなあ」と僕は尊敬しています）ただ、「先生はお忙しいかも」「相談するのは申し訳ない」と思うと、困りますよね・・・。

3の「友達に相談する」も、そんな友達がいるって素敵ですよ。遠慮なく話せますし。・・・ただ友達は子育ての専門家ではないし、もしかするとアドバイスが間違っているかもしれません。それに、「友達だから言いにくい」場合・・・困りますよね・・・。

4の「1人で抱える」も、1人でじっくり解決策を生み出せるのは、素晴らしいです。・・・ただ、気持ちが落ち込んだり、怒りっぽかったりするなら、それは1人で抱えるには問題が重すぎるということです。どうしましょう・・・？

そんなときのための「カード」を1枚お渡しします。それは・・・



5. 「スクールカウンセラーに相談する」です。

スクールカウンセラーは、そもそも子育てで困ったことを相談する立場にある人ですので、「相談して良いのかな」と遠慮される必要はありません。友達と違い、日常生活で関わりのない人で、しかも秘密が守られるので、逆に安心して話せます。

重い荷物でも、1人で抱えるより、2人で抱えると半分になります。

そうは言っても、「カウンセリングって弱い人が行くのでは？」とお思いかもしれません。

数年前、小説家の村上春樹さんとの交流サイト **村上さんのところ** が開設され、たった数日で数万件のメールや相談が寄せられました（現在は終了）。

村上さんは「カウンセリングについてどう思うか」という質問に、こう答えています。

僕はカウンセリングを受けたことはありません。僕にとっては小説を書くことが、カウンセリングのような役目を果たしているのかもしれませんが。

カウンセリングをしてもらうことは、決して逃げていることにはなりません。自分自身と対面しようとしているわけですから、むしろ、「立ち向かっている」ということになるのではないのでしょうか？

ただ、カウンセラーとのあいだの相性みたいなものはかなり大事です。この人とはちょっとあわないと思ったら、やめてべつの人を見つけた方がいいと思います。



僕の実感もそうです。カウンセリングに続けて来られる方は、弱いというより強い方が多いと思っています。カウンセリングは人や自分のところを見つめる旅のようなもので、楽しいことだけではなく、時に深く考えて、複雑な思いもするからです。

ただ、頑張って旅を続けていると、色々な素晴らしい景色に出会えると思っています。

あと相性がいいかどうかは、まず会って見ないと分かりません。

月に数回、水曜の14時～18時まで来校しています。(6/3, 10, 17)

その時間にカウンセリングの予約がすでに入っていなければ、すぐお会いできます。

申し込みは先生を通じて、もしくは小山の来校日に学校にお電話下さい。